

慢性咳嗽は8週間からです

咳はよく遭遇する症状の一つです。持続期間によって急性咳嗽、遷延性咳嗽、慢性咳嗽に分類されます(図1)。発症初期の原因は感染症が多く、長引くにつれて非感染性の原因が増えるとされています。しかし咳自体は非特異的な反応であるため、特に慢性咳嗽では診断に難渋することも少なくありません。そのような場合は原因疾患を想定した治療的診断が考慮されます(図2)。本講演がみなさまの日常診療の一助となれば幸いです。

図1. 持続期間による咳の分類

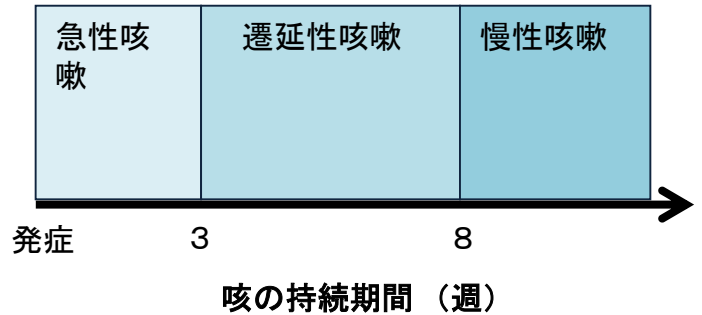
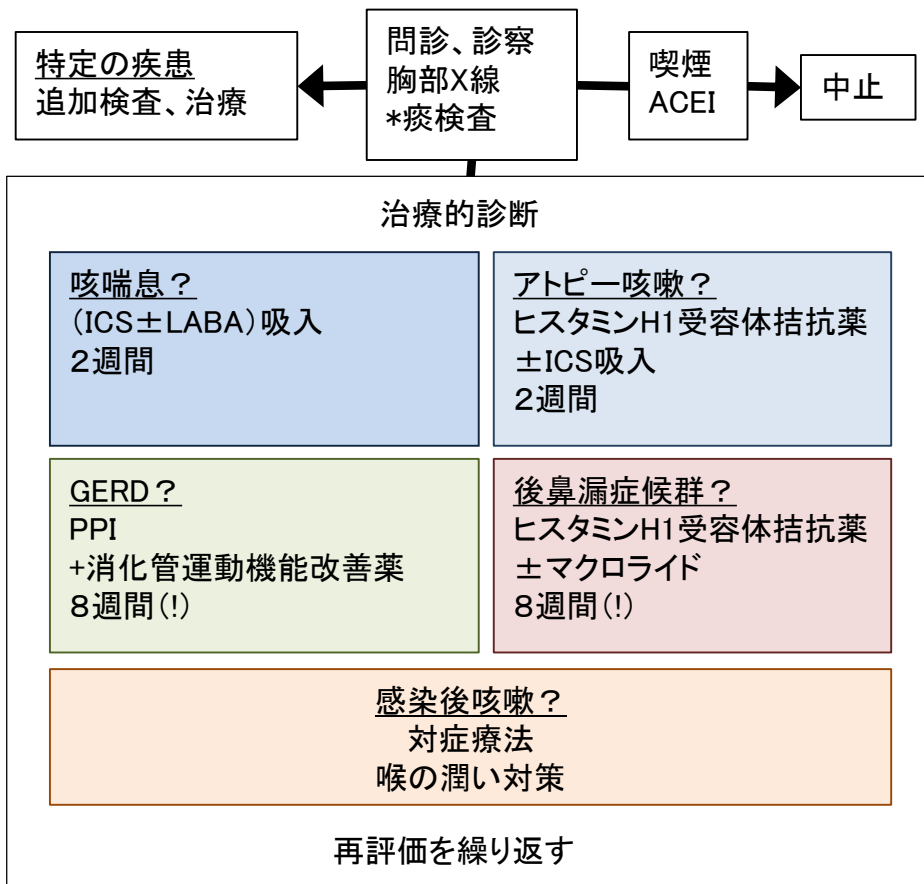


図2. 長引く咳への対応アルゴリズム



* 痰がある場合はできるだけ検査を行う。

ACEI: アンギオテンシン変換酵素阻害薬. ICS: 吸入ステロイド薬. LABA: 長時間作用性 β 刺激薬.

GERD: 胃食道逆流症. PPI: プロトンポンプ阻害薬